

## 第6回（平成24年度）栃木県元気な農業コンクールいきいき農村部門受賞者紹介

### ☆ 女性・高齢者活動の部

#### (1) 審査経過

女性・高齢者活動の部は、各地から女性の組織活動が6事例、高齢者は個人活動が1事例の合計7事例の応募があり、いずれの事例も、男女共同参画、高齢者の社会参画の域を超え、起業の主体となって活躍しており、まさにいきいきと農村の活性化を担っている事例ばかりでした。

審査委員会では、①自主的努力と創意工夫、②推進体制の整備と運営、③男女共同参画・高齢者社会参画の状況、④地域の農業振興や活性化への寄与の4つの視点から審査を行いました。第1次審査では、応募書類を中心に5人の審査委員が、委員間の討議を勘案して評価・判定を行い、上位3事例に関しては現地調査によるヒアリング調査を踏まえ、最終判定を行いました。

#### (2) 受賞組織の概要

##### ● とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）

##### 那須高原友愛の森 那須の食レストラン なすとらん

「道の駅那須高原友愛の森」内にある地産地消レストランであり、農業・酪農業等を営む地元の農村女性が、那須から食材を仕入れ、季節の野菜を使って、手作り料理を提供しています。

特に、なすとらんと地域の8店舗のレストランが、同じ食材を使用し、食・農・地域のストーリー性をもたせて提供している「那須の内弁当（なすべん）」は、那須地域の食材のPRと、消費拡大に寄与しています。

なすとらんは、「食・農・観光」を一体として、那須地域の伝統や情報を含めた「食」の提供に取り組んでおり、食と文化の発信基地となっている点を高く評価しました。



なすとらん店内



那須の内弁当(なすべん)

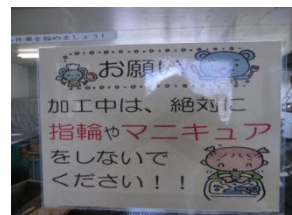
##### ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

##### 鹿沼市農産加工技術指導員協議会

設立後25年と長い歴史を持つ組織で、「農生研」「JA女性会」「村づくり組織」と様々なグループに所属するメンバーで組織されている指導者養成のための組織であり、加工販売ではなく加工技術の指導が目的で、市長から指導員の委嘱状を受け、地域農産物を活用した農産加工技術の普及指導を行っています。



加工技術指導



加工実習の注意事項表示

農産加工の技術指導の役割を果たすとともに、市のブランド農産物の加工品製造等にも大きく貢献し、現在地域ブランドとして定着してきた歴史が大きく評価されました。

## ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

### 那珂川町農村生活研究グループ協議会

グループ活動で培った「食」に関する知識・技術を活かし、地域の特色ある農産物の試作や、産地化の動きとの連携を図りながら、その調理法やメニュー開発を行い、新たな特産品開発に貢献しています。一方で新たなメンバーの加入と併せて若手農村女性の育成に力を入れ、継続的なグループ活動に努めています。食と農を起点とした様々な活動にチャレンジしながら、女性ならではの視点を発揮し町の活性化の一翼を担っている点が評価されました。



高校生とのメニュー開発



いのしし肉のメニュー開発

## ● 特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）

### 企業組合尚仁

町、農協が設置した地域活性化施設に併設された農村レトランに、公募した仲間が集まり企業組合を設立し、地元産のそば粉や農産物を活用し、地域活性化に取り組んでいます。組織が常にリフレッシュしていくために、70歳定年制を導入、組織の活性化に努めており、組合員の努力と創意工夫により売上げの増加が図られています。また、中学生等の職場体験受入や農業体験、環境整備等も実施しており、今後そば以外のさらなる展開が期待されます。



地域の環境整備



レストランメニュー

## ● 特別賞（下野新聞社長賞）

### 企業組合 らんどまあむ

道の駅の開設に伴い、社会貢献できる職場を農村地域に作る発想から企業組合を立ち上げ、多彩な人材で携わっています。地元の食材を活用した商品開発や、高齢者世帯への配食サービス、農業高校生との商品開発等幅広い活動を実践している点が評価されました。農村生活研究グループ等で培った知識・技術を活かし、法人化による積極的な経営展開を図っており、今後の6次産業化を志す女性達の参考事例として期待されます。



らんどまあむメンバー



特産かんぴょうの加工